

小学校の自閉症・情緒障害特別支援学級

あじさい学級のご案内



出典:「自閉症・情緒障害特別支援学級の教育課程の在り方について」
平成28年3月 東京都教育委員会

1

市内の自閉症・情緒障害特別支援学級

東村山第四中学校(令和4年度開設予定)



萩山小学校(あじさい学級)

特別支援学級(自閉症・情緒)は、令和3年度に東村山市立萩山小学校に小学生を対象とするあじさい学級が開設されました。学区域が広いので、萩山小学校以外の学区域にお住まいの方につきましては、市のスクールバスを利用できます。令和4年度には東村山市立東村山第四中学校に中学生を対象とする特別支援学級(自閉症・情緒)が開催される予定です。中学生は一人で登下校することが基本です。公共交通機関を利用するお子さんの通学費用は、申請していただくと市で費用を負担します。

【自閉症・情緒障害特別支援学級】

自閉症又はそれに類するもので、
他者との意思疎通及び対人関係の形成が困難である程度のも

主として心理的な原因による選択性かん黙等があるもので、
社会生活への適応が困難である程度のも

【特別支援教室】

自閉症又はそれに類するもので、
通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする程度のも

主として心理的な原因による選択性かん黙等があるもので、
通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする程度のも

「756号通知」及び「1178号通知」

※障害種別については同じであっても、その程度の差によってどちらの学びの場が適切であるか、ということ判断しなくてはなりません。

「自閉症又はそれに類するもの」

→自閉症スペクトラム障害
(アスペルガー症候群・広汎性発達障害)

→「言語」や「知的発達」に遅れがない

東京都教育委員会では、自閉症・情緒障害特別支援学級の対象は、**知的障害のない**自閉症等の児童とされています。

医師診察について

医療的な知見を参考に、適切な就学・転学を検討します。

現在、掛かり付けの病院等がある場合は、以下のような項目を参考に医師へ診断書の依頼をしてください。

掛かり付けの病院等がない場合は、市で依頼した医師や子ども相談室で対応いたします。

【発達検査の実施】

- WIPPSI-Ⅲ、WISC-Ⅳ等

【診断書の記載項目例】

- 知的障害の有無
- 自閉症スペクトラム障害の診断
- 主治医の就学先または転学先の所見
- 児童、生徒の障害の特性から適切と考えられる環境や指導方法等の配慮事項



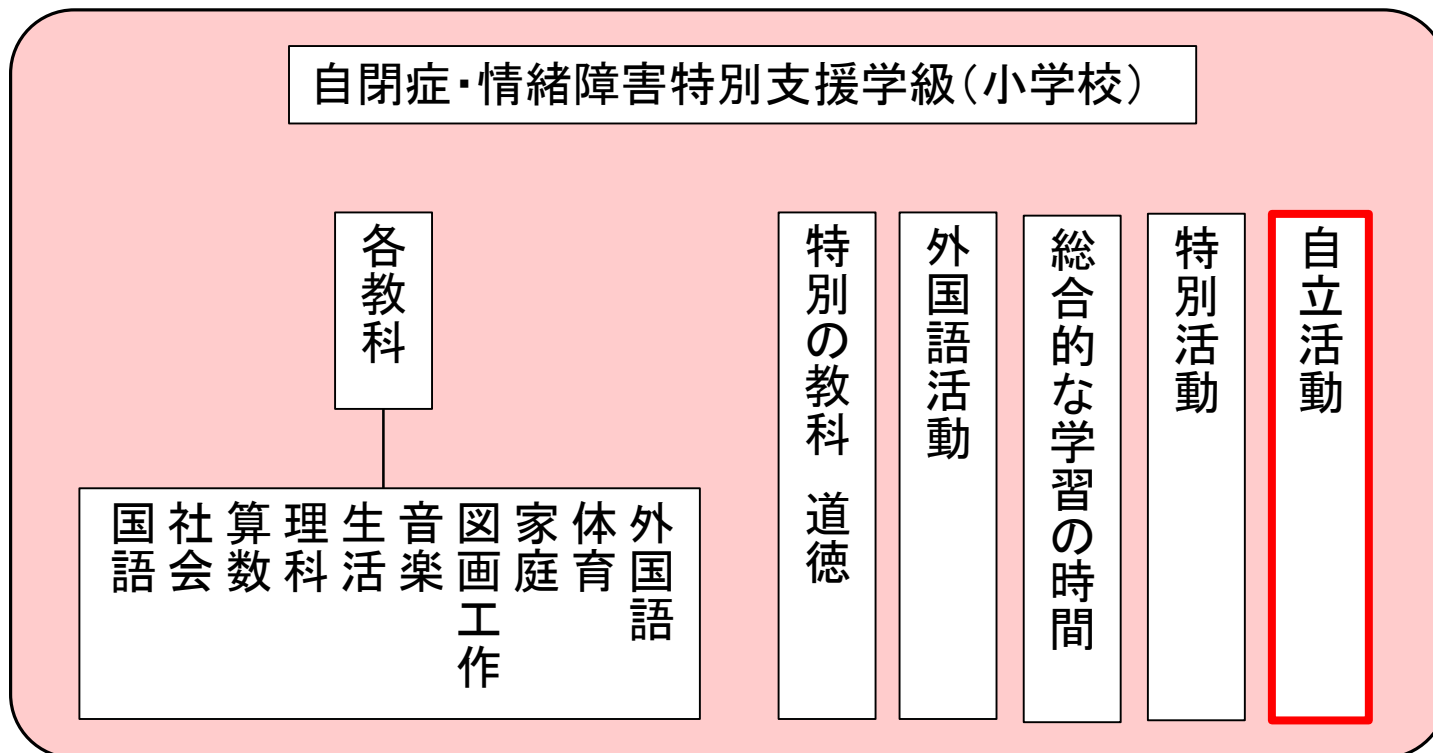
上記のような項目が自閉症・情緒障害特別支援学級の対象であるかの判断項目になります。
※全ての項目が必要な訳ではありません。

3

教育課程

小学校及び中学校の教育課程に準ずることを基本とし、特に必要がある場合には、特別の教育課程によることができる。

※「準ずる」=原則として同一ということ



教育課程は、小学校及び中学校の教育過程に準じています。各教科、特別の教科「道徳」、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動は通常の学級と同様に取り組みます。これらの学習に加えて、「自立活動」が特別に設けられています。

○「自立活動」の指導とは…

障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、自立を図るために必要な知識、技能、態度及び習慣を養うことを目標とする。

指導内容

自立活動（6区分27領域）

- | | |
|-------------|---------------|
| 【1 健康の保持】 | 【2 心理的な安定】 |
| 【3 人間関係の形成】 | 【4 環境の把握】 |
| 【5 身体の動き】 | 【6 コミュニケーション】 |

社会性の学習

【対人関係に関する内容】 【ソーシャルスキルに関する内容】

児童にとって必要となる自立活動の授業時間数は、指導の成果により、学年が進むにつれて、減少すると考えられる。

【小学校の自立活動の授業時間数(例)】

学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
時間数	85	105	70	70	35	35

○「交流及び共同学習」

各教科のねらいを通常の学級での学習によって、より効果的に達成される場合がある。

自立活動等で身に付けた対人関係に関する能力やソーシャルスキルトレーニングに関する能力が、通常の学級の集団の中で検証することができ、更に向上が図られる場合がある。

通常の学級での学習によって、特に小集団または集団で取り組む学習内容や験的な活動を共に経験する学習内容において、交流及び共同学習で学ぶ機会を設定しています。



小学校の時間割(一例)

	月	火	水	木	金
1	自立活動	算数	算数	算数	算数
2	国語	国語	国語	国語	国語
3	算数	理科	理科	理科	外国語
4	社会	社会	自立活動	社会	総合的な 学習の時間
昼	給食・清掃				
5	音楽	図画工作	家庭	特別活動	道徳
6	クラブ 委員会	体育	/	体育	体育

各教科を帯で同じ時間に入れるなどの工夫を行うことで見直しをもちやすくしています。

授業の形態については、低・中・高学年の複数の学年で学級を編成する、複式学級による指導を行っています。

意図的に学習を始める時間を学年ごとに差を設けることで、直接指導で丁寧な説明が必要な導入の時間と間接指導で自主的に学習を進める時間を交互に組み合わせることができ、指導の充実を図ることに努めています。